

ならの木便り

6月の園



蒸し暑いとうつうしい日が続いております。

そのようななか、20日(月)に子ども達は、今年初めてのプールに心を躍らせていたようです。そしてこの日、5月の中旬に植えたキュウリが3本とパプリカ1個が食べ頃になりました。早速収穫して、大溝先生がキュウリは塩もみ、パプリカは20切れにして、この貴重な初なりを年長児が給食の時間に味わいました。

キュウリは大人気で全員が食べて、先生には一切れも残らなかったということでした。パプリカは多少食べにくさがあったようで、「苦い」という子もいたようですが、皆で興味深そうに食べていたそうです。

5月下旬頃から学生が2名実習に来て、一人は約1ヶ月、一人は3週間、子ども達もフレッシュなふれ合いを楽しんでおりました。24日の金曜日には、この日で実習が終わるので、簡単な「お疲れ会」をしたのですが、帰宅時間の5時を過ぎても、2人は名残惜しそうに預り保育の子どもと遊んでおりました。

その翌日の土曜日には、帰宅して自宅の室内の温度計を見て驚きました。35度を示しておりました。

6月27日の月曜日には、未就園児教室「にこにこキッズ」の方々が、自由参加の形で相原中央公園に集まりました。誰でも参加自由ということで行いました。ホームページを見て下さったお母さんとお子さん、リトミックのイベントに参加して下さっていたお母さんとお子さんなど、未就園児教室に通っていらっしゃる親子の方々と一緒に楽しみました。



始めに、わらべ歌の『いっぽんばし』『げんこつ山のためきさん』などの手遊びで親子のふれ合いを楽しみました。次に、『まねっこしましょう』とかフラフープを使った電車競争、ボール遊び競争をして、『サンドイッチ・サンドイッチ』という大型絵本を読んで散会しました。

この日で3日間、猛暑日が続きましたが、木々に囲まれた広場の散歩道沿いにあじさいが咲き誇るその木陰にテントを張り、暑い日であることも忘れたように、笑顔で楽しそうに、お母さんとお子さんはそれぞれ手をつないで広場を後にしました。

プールが始まって丁度1週間になりました。連日のプールに子ども達は大喜びです。この日の年長組のお友達のプールの時間の一場面の様子です。

まず水に入ると、プールの縁に並んで座り、皆が揃ったら、自分の身体に水をかけて、次に頭から水を被り、顔に水がかかっても動じない子がチャンピオンになりました。

次に足を伸ばして波を作ったり、鰐になって鰐歩きをしたり、先生がトンネルを作ってそれをくぐったりしました。そのようなことをした後自由遊びに入りました。

先生が「では、自由に遊びましょう」と声を掛けて、かご一杯のおもちゃをプールに入れると、プールの縁に並んで座っていた子ども達は、一斉にジョーロやカップやスポンジなど、おもちゃがお水に浮かんだとたん歓声をあげて我先にとろうとしました。先生が「まだですよ」と一度止めに入って、「温和しく待っていたお友達からどぞ」という声に、2人のお友達が最初におもちゃを手にした後、皆が一斉にお目当てのおもちゃを手にして水しぶきをあげて遊び始めました。



子ども達には充実した6月でした。



浜野和子